丹後広域振興局　資料配付

令和３年度 丹後織物人材育成研修
製織【後染織物】及び製織【先染織物】コースの受講者の募集

令　和　３　年　８　月　２　日
京都府織物・機械金属振興センター
（電話：０７７２－６２－７４０２）

京都府織物・機械金属振興センターでは、織物製造や関連工程に関わる人材育成研修を実施しており、この度、製織【後染織物】及び製織【先染織物】コースの受講生を募集しますのでお知らせします。

本研修は、主に織物の製織に携わり始めた方を対象に、製織に必要な基礎知識、準備作業、織機の操作方法等について座学や実習を行うもので、日頃の作業で注意が必要な点や疑問に感じていることの解決方法を学べる機会となります。

記

１　製織【後染織物】コース

（１）募集期間　令和３年８月２日（月）～１０月２９日（金）あるいは定員に達するまで。
（２）定　　員　３名（申込受付順）
（３）対 象 者　後染織物の製造に携わり始めた方、織物業への従事を検討されている方等
（４）内　　容　マンツーマンで、後染織物の製織に必要な基礎知識、糸の結び方、管巻き、織機の操作など工程全般を研修します。
（５）研修期間　令和３年８月１６日（月）～１２月２４日（金）まで、最大７２時間（３時間×２４日間）。研修日時や時間数は、受講生の研修前の習熟度に応じて、調整し決定します。
（６）講　　師　京都府織物・機械金属振興センター　技術支援課　職員

２　製織【先染織物】コース

（１）募集期間　令和３年８月２日（月）～８月２０日（金）まで。
（２）定　　員　３名（申込者が２名に満たない場合は、開催を中止します。）
（３）対 象 者　先染織物の製造に携わり始めた方、日頃の作業で疑問を抱えている方等
（４）内　　容　少人数形式で、先染織物の製織に必要な基礎知識、シャットルやジャカードの調整方法の他、受講生が日頃抱えている疑問を聞き取って解決方法を研修します。
（５）研修日時　令和３年９月１日、８日、１５日、２２日、２９日、１０月６日、１３日、２７日、１１月１０日、１７日の計１０回。いずれも水曜日。午後１時３０分～午後４時３０分。
（６）講　　師　平田好宣氏（織機調整１級技能士、京都府中小企業特別技術指導員）

３　お問合せ先、申込先

技術支援課　徳本主任研究員
電話：０７７２－６２－７４０２、ＦＡＸ：０７７２－６２－５２４０
Ｅ－ｍａｉｌ：y-tokumoto20@pref.kyoto.lg.jp

製織【後染織物】及び【先染織物】コース 受講生募集

京都府織物・機械金属振興センターでは、織物製造業及び関連工程に関わる人材育成研修を実施しています。

製織【後染織物】及び【先染織物】コースでは、主に織物の製織に携わり始めた方を対象に、製織に係る基礎知識、準備作業、織機操作などについて座学や実習の研修を行います。日頃の作業で注意が必要な点や、疑問に感じていることの解決方法を学べる機会となりますので、是非ご受講ください。

製織【後染織物】コース

内容	マンツーマンで、後染織物の製織に必要な基礎知識、糸の結び方、管巻き、ハンドルの操作など工程全般の作業を研修します。カリキュラムの詳細は別紙 1 をご覧ください。
実施日時	令和 3 年 8 月 16 日（月）～12 月 24 日（金）まで、最大 72 時間（3 時間×24 日間）。 研修日時や時間数は、受講生の研修前の習熟度に応じて、調整し決定します。
対象者	後染織物の製造に携わり始めた方、織物業への従事を検討されている方など
講師	京都府織物・機械金属振興センター　技術支援課　職員
定員	3 名（申込受付順）
申込期間	8 月 2 日（月）～10 月 29 日（金）あるいは定員に達するまで。

製織【先染織物】コース

内容	少人数形式で、先染織物の製織に必要な基礎知識や、シャットル、ジャカード等の日常の調整方法を研修する他、受講生が日頃抱えている疑問を聞き取って解決方法を指導します。カリキュラムの詳細は別紙 1 をご覧ください。
実施日時	令和 3 年 9 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日、10 月 6 日、13 日、27 日、11 月 10 日、17 日の計 10 回。いずれも水曜日。午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分。
対象者	先染織物の製造に携わり始めた方、日頃の作業で疑問を抱えている方など
講師	平田好宣氏（織機調整 1 級技能士、京都府中小企業特別技術指導員）
定員	3 名（※ 申込者が 2 名に満たない場合は、開催を中止します。）
申込期間	8 月 2 日（月）～8 月 20 日（金）まで。

申込、お問合せ先

申込用紙	申込用紙（別紙 2）に必要事項を記入のうえ、当センターまで御返信ください。
申込、お問合先	京都府織物・機械金属振興センター　技術支援課　徳本主任研究員 電話：0772-62-7402、FAX：0772-62-5240、メール：y-tokumoto20@pref.kyoto.lg.jp

（別紙 1）

令和 3 年度丹後織物人材育成研修

製織【後染織物】及び【先染織物】コース　カリキュラム

製織【後染織物】コース

＜織物や織機の基礎知識＞

織物の種類、織機の種類、織機の運動、織機各部の名称、ジャカード各部の名称、織機の保守のための油差し、機拵え（はたごしらえ）周辺の名称、機拵え図の読み方

＜機場での糸の扱い方＞

糸の扱い方　糸の結び方、撚りの見分け方、糸繰り、管巻き、シャットルの準備とよこ糸の調子の確認、たて糸の確認、杼箱の確認

＜製織＞

ハンドル操作の練習、準備したシャットルでの製織、畦の整え方、たて・よこ糸が切れた時の作業、杼口合わせ、織合わせ、製品を下ろす作業

製織【先染織物】コース

＜先染め織物の基礎知識＞

織機の種類と各部の名称、帯地の種類と織物組織

＜製織準備＞

たて糸（ビーム）の取り付け位置、たて継ぎ、筬の取り付け、よこ糸の準備、糸繰り、合糸、管巻き、地越の調整、たて糸の張力及びウエイト、シャットルの調整（猫毛、遊糸、杼ゴム）

＜力織機及びジャカードの基本運動＞

開口運動、杼投げ運動、筬打ち運動、副運動、巻取り・送出し、杼箱交換の調整、安全器の調整、たて針開口量、よこ針押し量の適正化、ダイレクトジャカードの種類と調整

＜製織＞

織物品種に適した開口量、伏せ込み量、開口タイミングの調整、馬乗りの防止、杼投げ力の調整、ピッカーの交換、杼受け装置の調整、バッファーの種類、ピッキングバンドの老朽化、弛緩現象の緩和、筬磨き

＜難物の要因解明＞

織段（厚段・薄段、地越斑）、たてキズ、織合わせ段、しわ、汚れ、たて切れ、よこ糸のヒケ

（別紙 2）

令和 3 年度丹後織物人材育成研修

製織【後染織物】及び【先染織物】コース　申込書

企業名		業種、 製造品目	
代表者 役職・氏名	＜役職名＞　　＜氏名＞（ふりがな）		
住所	〒		
電話		FAX	
E-mail			
申込コース名 （どちらかを選択）	製織【後染織物】(※)　・　製織【先染織物】 （※ 製織【後染織物】コースの研修日時及び時間数は、申込受付順に、習熟度に応じて調整し決定します。）		
受講者 役職・氏名	＜役職名＞　　＜氏名＞（ふりがな）		
年齢	10 代　・　20 代　・　30 代　・　40 代　・　50 代　・　60 代以上		
担当業務		従事年数	
雇用調整助成金に関する書類の作成 （申請合意書及び教育訓練受講確認書）	必要　・　不要		
その他 （希望等聞き取り）			

【申込先】
京都府織物・機械金属振興センター　技術支援課　徳本あて
FAX：0772-62-5240、メール：y-tokumoto20@pref.kyoto.lg.jp